第五講「む・むず」／「じ」／「らむ・けむ」

む・むず（＝「　・　ず」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	む	○	○	む	む	め	○	四段型
形	むず	○	○	むず	むずる	むずれ	○	**サ変型**

【意味】＝**「スイカかえて」**

① 推量（～だろう）
② 意志（～よう）
③ 勧誘（～ませんか）
④ 仮定（～としたら）
⑤ 婉曲（～ような）
⑥ 適当（～するのがよい）

〈見分け方〉＝「　　」か「　　」に分ける。

○「　」＝「仮定」・「婉曲」
○「　」＝「推量」・「意志」・「勧誘・適当」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「**文中**」の「む」の意味

○　～む＋**体言**→「　　　　　」

○　～む＋助詞→「　　　　　」

★「**文末**」の「む」の意味→文脈判断。目安として**主語**確認。

○　**一**人称→「　　　　　」

○　**二**人称→「　　　　　」

○　**三**人称→「　　　　　」

※「　　　　　」**の上の「む」**→「　　　　　　　　」が多い。

※
「こそ～**め**」の「**め**」
「て**む**」の「**む**」
「な**む**」の「**む**」
＝「　　　　　・　　　　　」が多い。

※「**勧誘・適当**」の「む」の主語＝**必ず**「　　　　　　　」になる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題一〉 次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①「我もいかで、腰折れたらん雀見つけて、飼はん」と思ひて、…

② 海ならずたたへる水の底までもきよき心は月ぞ照らさむ

③ 人の上に立たむこと、月を越ゆべからず

④ 翁の、孫を見むと思ひけむは理なり

⑤ かまどなどは、歌に詠まむには卑しき詞なれど、…

⑥ とくこそ試みさせ給はめ。

⑦ 人のけはひすれば、たれならむと思ふほどに、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一

「心澄まさむ人は見ぬべきさまなる」の意味として、最も適当なものを、次のア〜カの中から選べ。

ア　心を落ち着けようとする人は、きっと見るのがよい様子である
イ　心を落ち着けようとする人は、見なくてもよい様子である
ウ　心を落ち着かせている人は、きっと見るのがよい様子である
エ　心を落ち着かせている人は、見なくてもよい様子である
オ　心を落ち着かせた人は、きっと見るのがよい様子である
カ　心を落ち着かせた人は、見なくてもよい様子である

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

じ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	じ	○	○	じ	じ	じ	○	無変化型

【意味】＝「　　」の打消

①　打消推量（〜ないだろう）

②　打消意志（〜ないつもりだ）

〈見分け方〉＝主語確認

○一人称　→「　　」

○それ以外→「　　」

問二　「待つ人もあら<u>じ</u>と思ふ山里の梢（こずゑ）を見つつなほぞ過ぎうき」の傍線部の助動詞の文法的意味を答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

らむ・けむ（＝「ら　　・け　　」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	らむ	○	○	らむ	らむ	らめ	○	四段型
形	けむ	○	○	けむ	けむ	けめ	○	四段型

【意味】

〔共通〕

① 推量（〜だろう）
② 原因推量（どうして〜だろう）
③ 伝聞（〜とかいう）
④ 婉曲（〜ような）

〔違い〕＝「時制」

「らむ」＝「　　　　」
「けむ」＝「　　　　」

※共通の意味の上にそれぞれ時制を全て付け足す。訳もそれぞれ時制を加えて訳すこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈見分け方〉＝「　　　」か「　　　」に分ける。

○「　　　」＝時制＋「推量」・「原因推量」

○「　　　」＝時制＋「伝聞」・「婉曲」

★「　　　」の意味の見分け方

○見ている→「　　　」

○見ていない→「　　　」

※　文中に、**「どうして～」と訳せる疑問語、係助詞「や」・「か」**がある場合→「　　　」が多い。

〈例題二〉　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　涙さへなどとまらざるらむ

②　駒並べていざ見に行かむ古里は雪とのみこそ花は散るらめ

③　人違へにてぞあるらむ。

④　見渡せば山もとかすむ水無瀬川夕べは秋と何思ひけむ

⑤　「この女、いかに思ふらむ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「あらざりけん」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　現在の推量　　イ　過去の推量　　ウ　適当　　エ　可能

オ　断定　　カ　伝聞推定　　キ　完了　　ケ　当然

問四　次の空欄A、Bには助動詞「らむ」または「けむ」が入る。それぞれに合う助動詞を適切な形にして、記せ。

「かかる所にながめたまふ［A］心の中のあはれに、…」

一つ橋危がりて帰り来たり［B］者のやうに、わびしくおぼゆ

A＝

B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　「む・むず」／「じ」／「らむ・けむ」

①「まだしからむ人は、いと思ひよりがたくや。」の波線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　可能　2　受身　3　完了　4　使役
5　尊敬　6　自発　7　婉曲

②「我が行ひを五つ、六つ重ねたらんほどに行ふ者ありけり。」の二重傍線部の助動詞の文法上の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

1　受身　2　可能　3　尊敬　4　打消
5　存続　6　意志　7　婉曲　8　命令

③「語り申させたまひけめど、…」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　婉曲　イ　伝聞　ウ　過去の推量　エ　過去の詠嘆　オ　勧誘

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　模範解答

〔例題一〕　①　意志　②　推量　③　婉曲　④　意志　⑤　仮定　⑥　適当（勧誘）　⑦　推量

〔例題二〕　①　現在原因推量　②　現在推量　③　現在推量　④　過去原因推量　⑤　現在推量

問一　ア

問二　打消推量

問三　イ

問四　A　らむ　B　けむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第五講　「む・むず」／「じ」／「らむ・けむ」

〔解説〕

①　**文中**の「**む**」は「**仮定・婉曲**」。「む」の**下**が**体言**なので「**婉曲**」。よって、正解は７。

②　**上**が「たり」の**未然形**なので、この「ん」は「**む**」。**文中**の「む」で、**下**が**体言**。よって、正解は７。

③　傍線部は、**過去推量**の助動詞「けむ」の已然形。文中にあるので、厳密に言えば「過去の伝聞・婉曲」だが、ア・イは時制に触れていないので×。「けむ」には「過去の詠嘆」の意味はない。よって、正解はウ。

〔解答〕

①　７　　②　７　　③　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。